

**平成30年3月期第3四半期
決算説明資料**

名古屋鉄道株式会社

2018年2月7日

連結損益計算書

() は増減率

(単位：百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減	(対前年同期)
営業収益	446,289	441,628	4,660 (1.1)	不動産 +4,130 運送 +1,884 交通 +1,498 その他 △660 流通 △577 レジャー・サービス △233
営業費用	407,178	404,855	2,323	燃料費 +1,367
営業利益	39,110	36,773	2,337 (6.4)	交通 +1,004 不動産 +894 流通 +398 レジャー・サービス +395 その他 △226 運送 △123
経常利益	40,269	38,231	2,037 (5.3)	営業外収益 △448 営業外費用 △148
特別利益	1,402	1,714	△ 311	固定資産売却益 △127
特別損失	1,463	2,346	△ 882	減損損失 △423
親会社株主に帰属する 四半期純利益	25,578	22,698	2,880 (12.7)	

営業収益 : 不動産事業における増収やトラック事業での貨物取扱量の増加、さらには鉄軌道事業における輸送人員の増加により増収。

営業利益 : 燃料費は増加したものの、増収により増益。

経常利益 : 持分法投資利益の減少など、営業外損益は悪化したものの、営業増益により増益。

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : 経常増益に加え、特別損益の改善により増益。

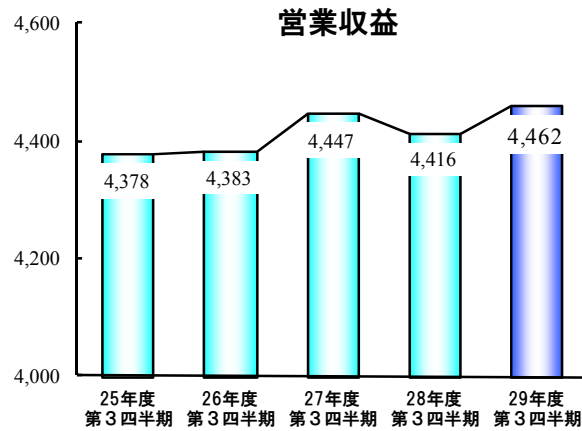
《連結子会社数》 : 119社 (増加 4社) 上海名鉄国際貨運代理 (新規設立)、名鉄ライフサポート (新規設立)
名鉄スマイルプラス (新規設立)、名鉄協商パーキング (新規加入)
(減少 8社) 名古屋商工会館 (被合併)、岐阜バス観光 (被合併)
岐阜バスコミュニティ (被合併)、大阪名鉄急配 (被合併)
関東名鉄カーゴサービス (被合併)、東京名鉄カーゴサービス (被合併)
下呂名鉄タクシー (株式譲渡)、ニッポンレンタカー名鉄 (株式譲渡)

《持分法適用会社数》 : 16社 (増加 1社) エイトデザイン (新規加入)

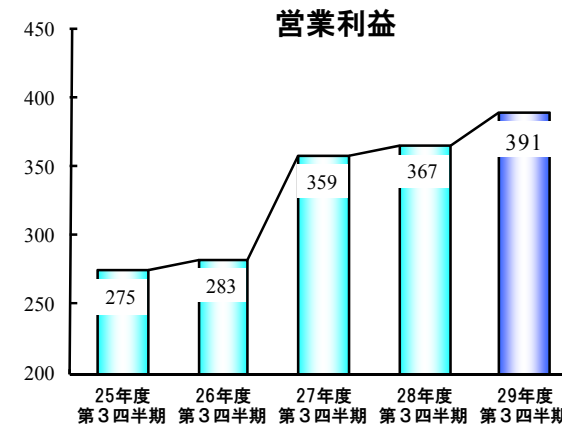


連結業績の推移

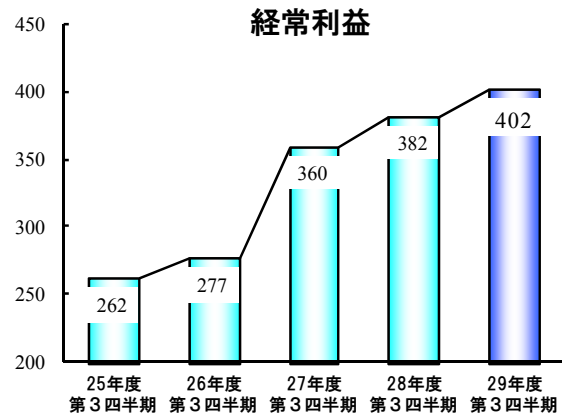
(単位:億円)



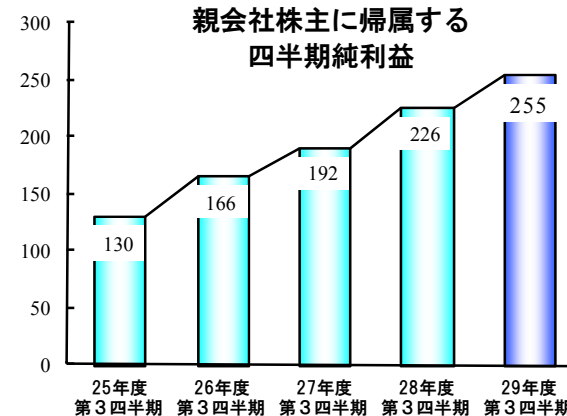
2期ぶり増収



6期連続増益



6期連続増益



6期連続増益



セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	126,551	125,053	1,498	1.2	鉄軌道事業における輸送人員の増加により増収
運送事業	100,570	98,685	1,884	1.9	トラック事業での貨物取扱量の増加などにより増収
不動産事業	59,270	55,140	4,130	7.5	賃貸事業での新規賃貸物件の収益寄与や駐車場数の増加に加え、分譲マンションの引渡戸数の増加もあり増収
レジャー・サービス事業	41,292	41,526	△ 233	△ 0.6	ホテル業は増収となったものの、観光施設事業における子会社譲渡に伴う減収やレストラン業の減収により全体では減収
流通事業	98,888	99,466	△ 577	△ 0.6	百貨店業での減収により、全体では減収
その他の事業	50,411	51,071	△ 660	△ 1.3	設備工事の受注減少などにより減収
調整額	△ 30,695	△ 29,314	△ 1,381	—	
合計	446,289	441,628	4,660	1.1	

営業利益	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	20,513	19,509	1,004	5.1	燃料費や人件費は増加したものの、鉄軌道事業の増収により増益
運送事業	5,310	5,433	△ 123	△ 2.3	燃料費や人件費の増加により減益
不動産事業	7,564	6,669	894	13.4	賃貸事業の増収により増益
レジャー・サービス事業	1,780	1,385	395	28.5	ホテル業の増収に加え、旅行業の収支改善により増益
流通事業	894	496	398	80.3	百貨店業での収支改善や駅店舗事業の増収に加え、輸入車販売業における利益率の改善などにより増益
その他の事業	2,662	2,888	△ 226	△ 7.8	航空事業における減益などにより全体では減益
調整額	384	390	△ 5	—	
合計	39,110	36,773	2,337	6.4	



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期	前期末	増減額	コメント
流動資産	180,583	173,058	7,525	有価証券の増加
固定資産	935,449	920,824	14,625	
有形固定資産	781,555	778,914	2,640	賃貸物件の取得等による増加
無形固定資産	8,407	9,157	△ 749	
投資その他の資産	145,486	132,752	12,734	保有上場株式の時価上昇による投資有価証券の増加
資産合計	1,116,033	1,093,882	22,150	
流動負債	258,449	278,959	△ 20,510	支払手形及び買掛金の減少 短期借入金の減少
固定負債	476,363	472,110	4,253	社債及び長期借入金の増加
負債合計	734,812	751,069	△ 16,257	
純資産合計	381,220	342,813	38,407	親会社株主に帰属する四半期純利益 +25,578 剰余金の配当 △4,596 その他有価証券評価差額金 +10,593 新株予約権行使に伴う新株発行 +3,300
負債純資産合計	1,116,033	1,093,882	22,150	
連結有利子負債合計	462,546	463,389	△ 842	〔参考〕純有利子負債残高 432,711 (前期末比 △7,975)



個別運輸成績

◆輸送人員◆

(単位：千人、%)

輸送人員	当第3四半期	前第3四半期	増減率
定期外	94,049	92,092	2.1
定期	199,242	194,604	2.4
計	293,291	286,696	2.3

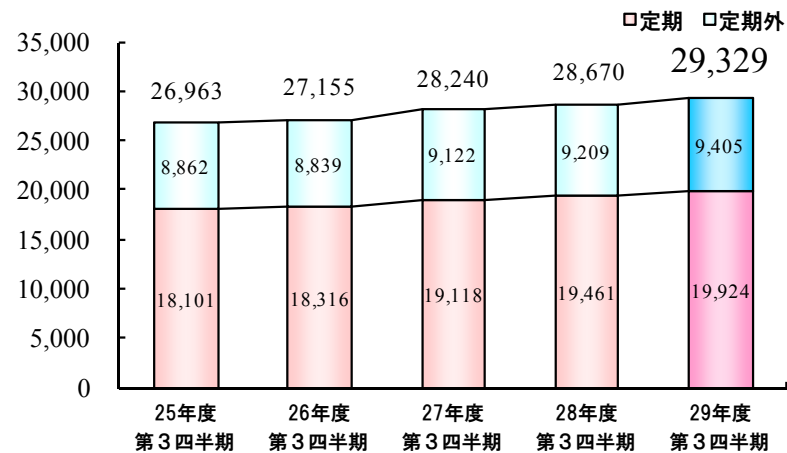
◆旅客収入◆

(単位：百万円、%)

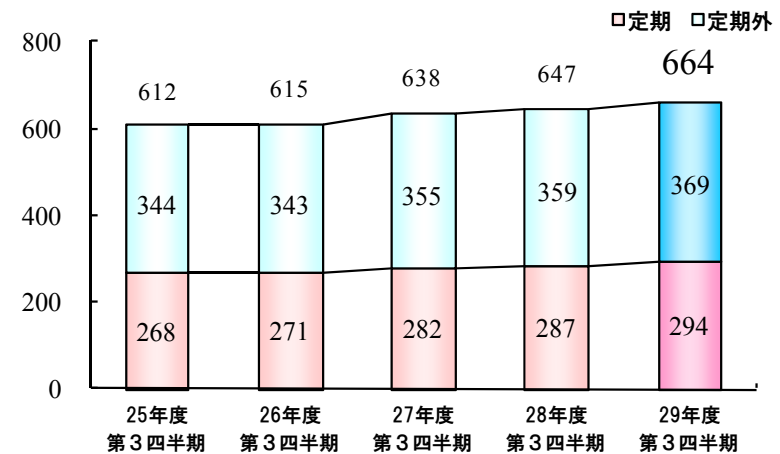
旅客収入	当第3四半期	前第3四半期	増減率
定期外	36,915	35,964	2.6
定期	29,498	28,768	2.5
計	66,414	64,732	2.6

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

◆輸送人員の推移◆ (単位:万人)



◆旅客収入の推移◆ (単位:億円)



平成30年3月期 連結業績予想

() は増減率 (単位：百万円、%) ※11月時点

	29年度 今回予想	28年度	増減	(対前期)	前回予想 (※)	増減
営業収益	608,000	599,569	8,431 (1.4)	不動産 +6,818 その他 +2,469 交通 +2,318 運送 +1,636 流通 Δ2,297 レジャー・サービス Δ12	608,000	—
営業利益	45,500	44,180	1,320 (3.0)	交通 +778 流通 +273 運送 +211 不動産 +204 その他 Δ531 レジャー・サービス Δ266	45,500	—
経常利益	46,500	46,142	358 (0.8)	営業外収益 Δ1,266 営業外費用 Δ304	46,500	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,000	23,433	3,567 (15.2)	特別利益 Δ199 特別損失 Δ6,900	27,000	—
設備投資額	53,100	48,120	4,980 (10.3)		53,100	—
減価償却費	39,500	38,748	752 (1.9)		39,500	—
純有利子負債	438,000	440,687	Δ2,687 (Δ0.6)	※純有利子負債：有利子負債一現預金・短期有価証券	438,000	—

通期の連結・個別業績予想ともに前回公表値（平成29年11月7日）を据え置き。

連結經營指標 (PLAN123)

	27年度	28年度		29年度 予想	29年度 中計目標
ROE (純利益/自己資本)	8.7%	7.7%		8.2%	8.0%
ROA (営業利益/総資産)	4.2%	4.1%		4.2%	3.8%
純有利子負債/ EBITDA倍率 (※)	5.5倍	5.3倍		5.2倍	5.5倍
株主資本比率	18.1%	18.7%		20.8%	20.0%

<参考>

DOE (配当総額/自己資本)	1.6%	1.5%	1.5%	1.5% ~2.0%
-----------------	------	------	------	---------------

※純有利子負債：有利子負債－現預金・短期有価証券
EBITDA：営業利益＋減価償却費



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。

